



# 保育科通信

第8号 平成28年9月27日

## 楽しい「たんけん」でした！

9月16日・17日の文化祭において、「こどものくに」が行われました。

今回のテーマは「たんけん日記」でした。そして、今年は初めての試みとして、校内祭に英和幼稚園の子どもたちと先生方を招待しました。



段ボールだらけだった保育実習棟に「こどものくに」が完成しました！



英和幼稚園の子どもたちと先生が園バスで来てくれました。

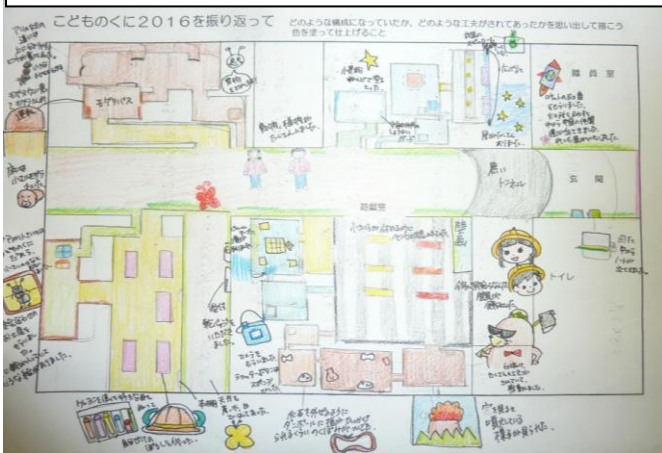


## <1年生のレポートより>

・「こどものくに」を見て、自分の思っていた「こどものくに」をはるかに越えたものでした。おみやげも何百個も作っているはずなのに1つひとつ丁寧に作られていたのがとても印象的でした。時間もそれほどない中で内装も工夫されていて、ただただすごいという言葉しかできませんでした。

・あんなに広い空間が区切られていて、ラシヤ紙がしわひとつなく貼られているのを見て感動しました。細かくてこんなところまで気をくばるのがすごいと思いました。もぐらバスに乗った部屋で下からもぐらが出てきているという説明を受けて区切っているボードの危ない足をこんな風に工夫しているんだと驚きました。先輩方の説明がとてもわかりやすかったです。

・私は昨年も「こどものくに」に行きました。昨年とは少し構造が変わっていて、一つひとつ区切つてある部屋が広く使われていると感じました。各部屋で先輩方にいただいた説明は困っている様子や喜んでいる様子を表現していて、とても分かりやすく楽しむことができました。再来年の「こどものくに」を成功させるために昨年、今年、来年の「こどものくに」のテーマや構造、おみやげ、遊びの工夫を参考にし、先輩方を越えられるようによいものを作りたいです。



## <2年生のレポートより>

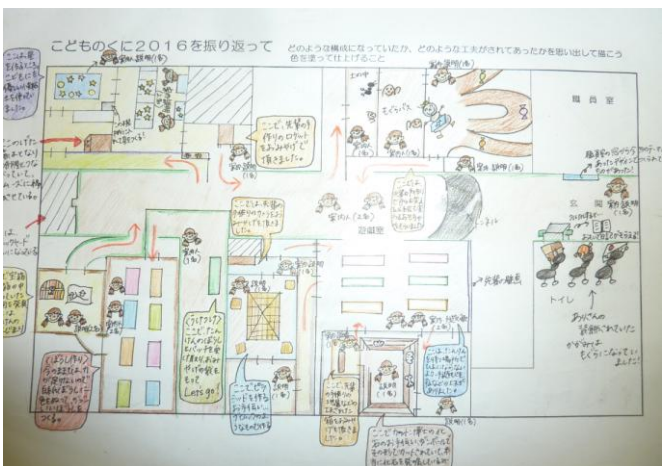
・去年はなかったトンネルや宇宙のところのベルトコンベアー、最後の塗り絵が出てくるガチャガチャがすごかったです。毎週リトミックで保育実習棟に来て、2年経つのに「こどものくに」で回っているとどこがどこかわからなくなっちゃうのすごいなと思いました。

・入り口を入ったところから探検のドキドキ感があって楽しくて笑顔になりました。先輩方も1人ひとりが楽しそうに自分たちが作り上げた「こどものくに」に自信をもってアピールしている感じがして感動しました。これは、先輩方が3年間保育科として学んできたことを全て出し切っている証だと思ってとても素敵だと思いました。そのためには、3年間の積み重ね=今現在の学習がとても大事なんだと改めて思うことができました。

・おもちゃも工夫されていたし、装飾もきれいで先輩らしさが出ていました。改めて先輩のすごさを知ることができました。

・時間はかかったのに待った気がなくてすごく楽しめました。壁の細かいところも工夫されていて今この部屋なのか分からなくなりました。

・昨年とは違い、天井や出口まで工夫が施されていて、今年ならではの魅力を感じました。来年に向けての準備が始まっていることを実感しました。



## <3年生のレポートより>

・「こどものくに」で学んだことの全てが、この先に活かせる大切な力となりました。

・「こどものくに」で学んだことは1人では何もできないということです。みんなと協力してこそ完成した「こどものくに」でした。